

宗像市スポーツ推進計画（後期）策定にあたって



スポーツは、世界共通の人類の文化である。国のスポーツ基本法の前文は、この言葉から始まります。世界中の人々が日本を訪れ歓喜したラグビーワールドカップ2019が私たちに感動を与えてくれたことは記憶に新しいところです。本市においても青少年国際大会や東京2020オリンピック競技大会事前キャンプ地として、世界各国から多くのスポーツ選手が来宗し、市民と様々な形で交流を重ねています。

また、国の第2期スポーツ基本計画においては、スポーツの主役は国民であり、国民に直接スポーツ機会を提供するのはスポーツ団体等であるとし、国民・スポーツ団体・民間事業者・地方公共団体・国等が一体となって施策を推進していくことが必要だとしています。

幸い本市には、大規模大会やスポーツ合宿を受け入れ可能な民間スポーツ施設、本市に本拠地を置くトップスポーツチーム、学術研究機関でありスポーツ施設を有する2つの大学など豊富なスポーツ資産があり、それぞれが連携したスポーツの多面活用によるまちづくりをより一層推進することができる大きな可能性を持っています。

これまでも本市はスポーツ基本法の理念である「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」の実現のため、平成27年にスポーツ施策推進の指針となる「宗像市スポーツ推進計画」を策定し取り組んでまいりました。計画策定から5年が経過したため、社会・経済情勢の変化等に的確に対応できるよう、この度、後期計画として中間見直しを行いました。関係団体はもとより、市民の皆様には計画の趣旨をご理解いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の中間見直しを行うに当たり、御尽力いただきました宗像市スポーツ推進審議会委員の皆様、関係各位をはじめ、パブリック・コメント等を通じて貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様にご心から感謝申し上げます。

宗像市長 伊豆 美沙子